

## 青森県沖における探鉱調査の実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、昨10月20日、石油資源開発株式会社および新日本石油開発株式会社と共同で、青森県沖において天然ガスの探鉱調査を開始いたしました。
2. 1999年に国が青森県八戸市沖合で掘削した基礎試錐「三陸沖」において天然ガスが発見され、それまで未探鉱であった三陸沖周辺の広い地域で、天然ガスの賦存が期待されることとなりました。当社は、2001年8月に石油資源開発株式会社および新日本石油開発株式会社等と共同で本地域周辺の広域音波探査を行い、取得した海底下の地質構造データを解析した結果、有望と考えられる地域を絞り込みました。今回は、精密音波探査を実施することにより、さらに詳細な地下構造を把握し、将来の坑井掘削位置決定に資するデータを収集する予定です。
3. 今回は、3社共同で調査する区域(約350km<sup>2</sup>)に加え、当社単独の区域(約500km<sup>2</sup>)もあわせて調査を実施します。調査の概要は次のとおりです。
  - (1) 調査期間: 本年10月20日～11月下旬(約40日間)
  - (2) 調査区域: 青森県沖合60km～90km(水深: 700～1,400m)
  - (3) 対象面積: 約850km<sup>2</sup>(東西20km、南北50km)
  - (4) 調査方法: 専用調査船によるエアガンを用いた精密音波探査作業

以上

### ● 【参考資料】

 [調査区域図](#)(PDF:188KB)

 [音波探査概念図](#)(PDF:76KB)